

SYOHEI ニュース 令和8年10月号

国保 衣川歯科診療所の概況

所在地

〒029-4332
奥州市衣川古戸 52

TEL

0197-52-3062

FAX

0197-52-3585

URL <http://www.city.oshu.iwate.jp/>

E-mail : shika_ko1@city.oshu.iwate.jp

診療開始年月日 昭和 63 年 4 月 1 日

標榜科 歯科・小児歯科



職員数 (R8. 4. 1 現在)

職 種	正 規	正規以外
歯科医師	1	
その他の技術職員	2	4
事務職員	2 (2)	2 (2)
総数	5 (2)	6 (2)

※兼務職員数は、() で掲載

主な設備の概要

歯科ユニット(6台)・位相差顕微鏡・デジタルX線撮影装置・ポータブルX線撮影装置・パノラマデジタルレントゲン・可搬式歯科用ユニット・遠心铸造機・超音波洗浄機・高圧蒸気滅菌器・ガス滅菌器・歯科用铸造機・器具除染用洗浄機・舌圧測定器・けい部聴診器・咀嚼能力検査装置

勤務医師

職 名	医 師 名
所長	佐々木 健

保健福祉活動

在宅訪問歯科検診指導・成人歯科検診・乳幼児歯科検診・幼稚園・保育所児童歯科検診指導・学校医

治療だけではなく、所長としての仕事

衣川歯科診療所 所長 佐々木健

歯科医師の仕事は患者さんの治療をすることです。私も毎日の診療では、そのことを一番大切にしています。

ただ、所長になってから感じるようになったのは、診療だけではなく良い診療所にはならないということです。患者さんが安心して通えることや、スタッフが気持ちよく働けることも、とても大切だと思っています。



例えば、待合室には漫画や雑誌を置いています。お子さんが退屈しないように、キッズスペースのおもちゃや塗り絵も時々入れ替えています。

また以前は診療ユニットの間に仕切りがありませんでした。スクリーンを設置して隣の患者さんが気にならないようにしました。診療中に流す音楽もラジオから落ち着いた BGM に変えました。どれも大きなことではありませんが、少しでも安心して通える診療所になればと思っています。

スタッフの成長を支えることも、所長の大切な仕事です。高齢者の口腔ケアや障がい児・者の口腔ケア、訪問口腔ケア、歯のホワイトニングなど、それぞれが興味を持った分野を学べるように、研修会への参加だけでなくメーカーによる実技指導や院内研修も行っています。

去年は他市町村の国保直診の先生にお願いし、私と歯科衛生士 3 名で特養の口腔ケアを見学しました。参加したスタッフからは「とても勉強になりました」という声が聞かれました。さらに参加できなかったスタッフからも「私も見学してみたい」「障がい児・者の口腔ケアをもっと学んでみたい」といった声上がり、学ぶ機会をつくるのがスタッフの意欲につながることを改めて実感しました。

一人所長として働いていると、診療だけでなく診療所全体のことを考え、スタッフと一緒に良い環境をつくっていく経験ができます。大変なこともあります。その分やりがいも大きく、こうした経験は将来、診療所や医院を経営する立場になった時にも、院長としての大きな力になると思っています。



大谷翔平選手の成績ボード (R8. 9. 28 現在)

打者：140 試合 打率 275 本塁打 30 打点 81 盗塁 11
投手：14 試合 勝利 8 勝 敗戦 2 防御率 1.79 奪三振 95

『SYOHEI ニュース』は市医師養成事業関係者の情報紙です。
令和 8 年 9 月 28 日発行 奥州市医療局医師確保推進室
〒023-0053 奥州市水沢大手町 3-1 TEL0197-25-3833
市医療局HPにバックナンバーを掲載しています。 第 78 号



1

1 放牧は5月から11月半ばまで行われている。早稲田大学継走部が合宿に訪れる時期には、サイクリングロードで練習に励む部員たちを遠目に馬たちが追い駆ける、ほほ笑ましい姿が見られることも 2 開牧式で牧野に駆け出す馬たち。ことしは農耕馬のほか、乗用馬やポニー、道産子など9頭が放牧されている(27年5月12日・J A岩手ふるさと馬産部会撮影)

2



国民宿舎サンホテル衣川荘の裏手を走る市道陣馬線。「サイクリングロード」と呼ばれるこの道を西に進み、東北ニュージーランド村を過ぎると、右手に日向牧野の緩やかな斜面が見える。

牛の飼育を行っていた酪農家が牧野から撤退し、荒廃が懸念された昭和55年、地元農家が仔馬の繁殖に名乗りを上げた。翌年、それを受けた当時の衣川農協が馬産部会を結成し、農耕馬の放牧を始めた。

毎年5月の連休明けに開牧式が行われ、放牧馬たちが一斉に駆け出す風景は、衣川ならではのものとして根付いてきた。放牧されている馬たちは、奥州こまかわ祭りやグリーンツーリズムに訪れた子どもたちとの触れ合いなどでも活躍し、地域振興にも一役買っている。

馬たちがのんびりと草を食み、牧野を歩く風景が訪れる人たちの心を和ませる日向牧野。人と馬とが触れ合いながら、馬産地としての歴史を刻んでいく。

